

スプレー缶・カセットボンベの廃棄時における事故の防止について

スプレー缶・カセットボンベの廃棄時における不適切な取扱いによる火災や事故が発生しています。

平成 30 年 12 月 16 日に北海道札幌市で発生した爆発火災では、50 名以上の方々が負傷するなど被害が発生し、当消防本部管内においても、スプレー缶やカセットボンベによる火災や事故が発生しています。廃棄時には各自治体のルールをご確認の上、風通しのよい、火気のない屋外で処理していただきますようお願いします。



また、全国的に住宅火災が多発し、火災による死者が増加しています。火気の取扱いに充分注意していただくとともに、住宅用火災警報器を設置されていないご家庭は、寝室及び階段の上部に設置してください。

リンク先（スプレー缶・カセットボンベの廃棄に関すること）

[一般社団法人 日本エアゾール協会 ホームページ](#)

リーフレット

必ずお守りください

スプレー缶（エアゾール缶）
カセットボンベは
**必ず中身を
使い切りましょう!!**

火災事故が多発しています!
中身の残ったスプレー缶・カセットボンベが
ごみに出されごみ収集車両や、ごみ処理施設で、
火災が発生しています。

スプレー缶の場合↓
正しいごみへの出し方 4step!

- step 1 缶を手で握って中身の有無を確認してください。
- step 2 「ジャカジャカ」「シャカシャカ」など音がしたら、中身が残っています。必ず使い切りましょう。
- step 3 音がしなくても、また中身やガスが残っている場合があります。「ガス抜きキャップ」で出し切ってください。
※ガス抜きキャップの取扱い方法は、スプレー缶のキャップの裏面に記載されています。
- step 4 地域の「ごみ出しルール」を守って出しましょう。

**中身のガスを出し切るために、
ガス抜きキャップを使いましょう!**

スプレー缶には**ガスを出し切るための【ガス抜きキャップ】**が装着されています。

※商品によっては、【ガス抜きキャップ（中身排出機構）】
【ガス抜きキャップ（残ガス排出用）】
【ガス抜きキャップ（ボタン）】等の表記を行うものがあります。

▼但し、下記のスプレー缶（エアゾール缶）商品には、ガス抜きキャップは付いていません。
【例】●炭酸ガス、窒素ガス等の不燃性ガス使用商品（商品の表示をご覧ください）

ガス抜きキャップを使う時には…

中身を使い切ってから、
風通しが良く、火気のない屋外で、
風下に向けて、人などにかからないように
新聞紙などに置き付けるなどをして、
周囲への飛散にご配慮ください。

カセットボンベには、【ガス抜きキャップ】は付いていません。
カセットこんろは**ヒートパネルを搭載しています。**（2007年4月生産分より）

ヒートパネルとは？（可燃ガス専用）
カセットボンベを得意に燃やす事で、燃焼で発生した熱を利用して、カセットこんろのガスを燃焼まで使い切る事ができます。

カセットボンベの取扱いに関するお問い合わせ先
088-0120-14-9996

●エアゾール製品処理対策協議会
一般社団法人日本エアゾール協会（エアゾール製品処理対策協議会事務局 03-507-8850）HP: <http://www.aiaj.or.jp/>
日本化学工業協会 一般社団法人日本化学工業協会 日本化学工業協会 日本化学工業協会 日本化学工業協会
日本化学工業協会 日本化学工業協会 日本化学工業協会 日本化学工業協会 日本化学工業協会
日本化学工業協会 日本化学工業協会 日本化学工業協会 日本化学工業協会 日本化学工業協会

●中央適正処理困難指定廃棄物対策協議会

[スプレー缶・カセットボンベは必ず中身を使い切りましょう](#) (PDF: 1,724KB)